

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社新星GP)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・性別、年齢などの雇用条件で差別が起きないよう、経営トップが積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本		【予定】	・ハラスメントが起きないような指示を適宜実施している。 ・R7年度中にハラスメント研修を予定している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・フレックスでの働き方を容認し、就業規則に盛り込んでいる。また社員がいつでも就業規則を確認できるよう各職場に就業規則を配置している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・経営トップとして外国人労働者への差別が起きないよう、社内での意識醸成が図られている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・労働災害の発生が起きないよう、経営トップが率先し職場環境を定期的に点検している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・メンタルヘルスに関して経営トップが意識し従業員との対話を通じたメンタルヘルス管理を実施している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材が活用できるよう、各人材の特性に合わせて職場内での指導を実施している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・現場での業務修得において管理者等による適切な指導を通じ能力開発を行っている。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法などの改正内容を理解し同一労働同一賃金の原則に沿った体制整備を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			社員の健康診断を定期的に実施している。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			行政のルールに則り、適正な産業廃棄物事業者を介し産業廃棄物等を処理している。											11.6 12.4		14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			デマンド装置を利用し電気使用量を把握し、毎月の状況を確認、節約に努めている。							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			自社のエネルギー関連等の使用量から排出量を把握し、削減に努めている。							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・遊技台の入替時など、有害物質の適切な管理ができるようメーカー指導および風営法に則った対応をすることで有害物質等の処理を行っている。			3.9			6.3					11.6 12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・ 環境に配慮し廃棄物処理を指定産業杯吉備津事業者を通じ処理を行っている。						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・ フードロスの削減のため、消費期限が近い食品を収集しフードロスのイベントを開催し、景品として使用している。												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・ 上下水道の利用量を毎月把握し、適切範囲に収まっているか確認している。						6.4 6.6											
18 環境	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	・ R8年度を目処にエコアクション21を取得予定。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	・ 令和7年度を目処にHP上で環境配慮に対する取り組みを発信する。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・ 店舗屋根に太陽光発電設備を設置しグリーン電力の使用を実施している。						7.2							13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・ 社内利用の備品等について、再利用可能なものは出来る限り継続しており資源の持続的利用に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・ 風営法に則り業務を実施しており汚職、贈収賄等がおこなならないように経営トップから社内へ伝達している。															16 16.5		
23	【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・ 適正な価格設定を社内で共有し、遊技台の点検を定期的に実施することで不正競争の防止に努めている。																16	
24	【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【非該当】		・ パチンコ店経営であり、風営法に則り事業を実施。知的財産に該当するものなし。								8.2 8.3	9								
25 公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本			・ 経営トップにより個人情報の管理、処理を適切に指導している。 ・ 個人情報漏洩の恐れがないように外部と接続できる社内PCの利用を限定している。																16	
26	【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			・ 当社のサプライチェーンの状況から、紛争鉱物の取扱いがない。																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・ 風営法の元、警察署、遊技台メーカーと連携しながら倫理面に配慮した対応を実施している。					5		8		10			12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【非該当】		・ 下請事業者はおらず、対象外。			3					8	9	10							17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・メーカーの製品内容を確認しながら、顧客へサービス提供の面で安全性があるものを使用している。			3.9								12.4						
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・電気節約が出来るエコモードを有する遊技台を利用しており、顧客が利用しないときには節電ができる等、品質面で顧客、環境双方にプラスとなるようにしている。								9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		・自社で開発、設計する製品なし。					6						12	13	14	15			
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【非該当】		・社会課題解決のためのサービス提供なし。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・店舗の騒音防止や店舗周辺住民の安全配慮等を意識し、店舗周辺の見回り等を定期的に実施している。				4				9		11	12		14	15		17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・フードロス対策のイベントを実施するなど地域貢献活動を積極的に実施している。 ・災害時の避難等で店舗駐車場を利用できるように行政と検討できるように対応を進めている。				4						11			14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			・地産の果物を景品として利用するなど地域経済の活性化に向けたサービスを実施している。								8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・经营理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・企業理念を明文化している。 ・経営目標を策定し、経営トップが従業員等に周知している。								8	9								17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・就業規則、風営法を基に社内へ法令順守の意識を徹底させている。																16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・経営トップを中心に、現場担当者を決めSDGsに資する活動方針を適宜のタイミングで検討している。																16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・消費者のニーズを定期的にヒアリングしながら、顧客満足度を高めるための遊技台などの選定を実施している。																16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・店舗運営におけるリスク項目を特定し、リスクマネジメントを実施している。																16	
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			・CSR活動として消費者、店舗周辺環境等に意識し適切な遊技ができるよう、経営トップが責任を持ち取り組んでいる。																16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	・BOP計画についてはR7年度を目処に計画策定予定。									9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・先代から事業承継して間もないが、後継者として社長の親族を中心に検討を行っている。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
- ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定